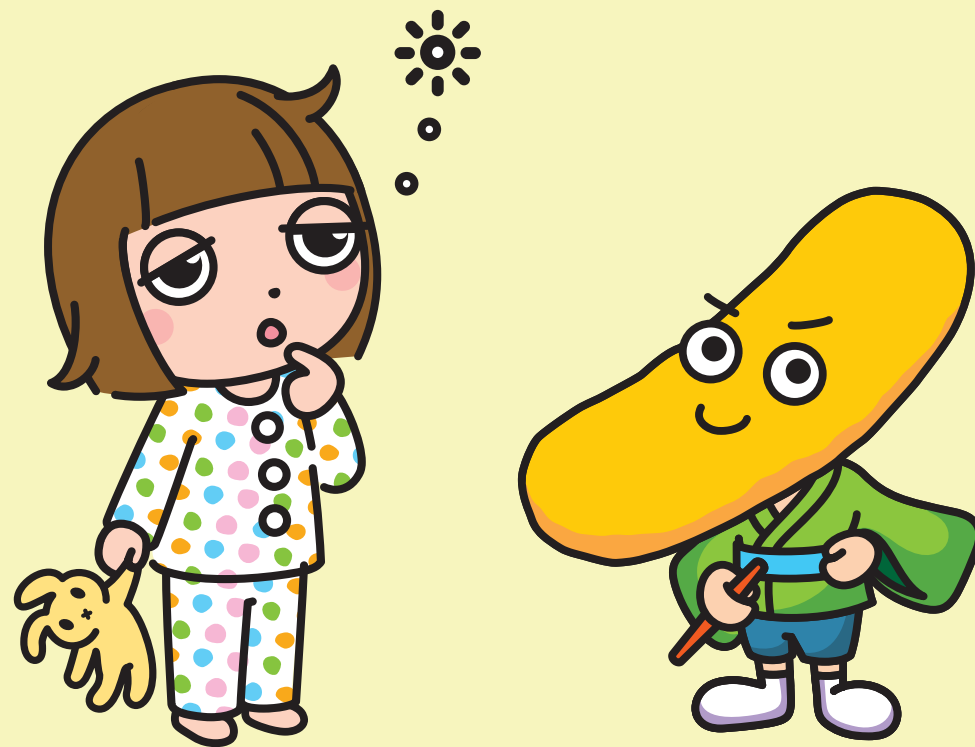


ヒミツのどろこくん。



ヒメちゃんという、
ちよつとこまったおんなのこがいました。
なにがこまったこなのかというと……。

あさ、おきるじかんです。

ヒメちゃんはいつまでたってもおきてきません。
よる、おそくまでおきているからです。

おかあさんが「はやくおきなさい!!」
とカンカンにおこっているのに、
ヒメちゃんはおふとんのなか……。

まいにち、まいにち、こんなこまったせいかが
つづいていた、あるひのこと。

ちいさなこえが
きこえてきました。

「げんきよくおきて、
おはよう!を
いわなくちゃ
いけないんだよ〜」

ヒメちゃんは、
ねむいめを

こすりながら、
どこから

きこえるのかなあ?
とフシギです。



けつきよく、

がっこうにおでかけのじかんになってしまいました。

「あーあ。あさごはんをたべるじかんがなくなっちゃった。まっイヤー！」

ヒメちゃんはがっこうへいきます。

さつきより、ちよつとだけはつきりと

ちいさなこえがきこえてきます。

「あさごはんは

ちゃんとたべないと

ダメなんだよ〜」

ヒメちゃんは、

そのちいさなこえが

どこからするのか

キョロキョロ

しています。

あさ
朝ごはんは
た
ちゃんと食べないと
ダメなんだよ〜



がっこうにつきました。

おべんきようはつまらないけど、

おともだちとおへやであそぶのはたのしい!!

「あつ。ちょっと、ウンチがしたいかな？」

でも…ウンチだってバレたらはずかしいし…

おうちにかえってからトイレにいけばイヤー!」

ヒメちゃんは、ウンチをガマンしてしまいました。

さつきよりもさらに、

はつきりと

ちいさなこえが

きこえます。

「ウンチは

はずかしがらずに、

したいときに

トイレにいかなきゃ

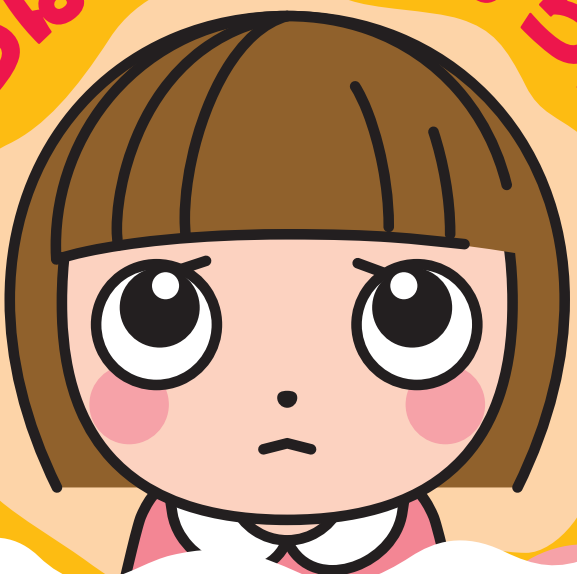
いけないんだよ」

ヒメちゃんは、

またまた

フシギそうです。

うんちははずかしがらずに…



きゆうしよくのじかんです。
みんなてをあらいにいったのに、
ヒメちゃんだけいきませんでした。

「だって、てをあらいにいくのめんどうくさいし、
ハンカチわすれちゃったんだもん」
さつきよりも、もっとはつきりと
ちいさなこえがきこえます。

「ヒメちゃんので、
きたないよ。
それでごはんたべたら、
おなかがいたく
なっっちゃうよ〜」

ヒメちゃんは、
ちいさなこえに
おどろかなく
なりました。

「いっいたらイイの!!!」



きゆうしよくのおさらには、
だいすきなハンバーグと、
だいきらいなやさいの^にもの^がのっています。
ヒメちゃんはあさごはんをぬいていたので、
ハンバーグをのみこむようにたべました。
でも、やさいの^にものは
たべずにのこしてしまいました。
さつきよりも、さらにはつきり、
そしておこったようなちいさなこえがきこえます。

「すききらいしないで、

やさいもモリモリたべなきやだめだよ。」

それに、ごはんをたべるときは、

よくかまなきやだめだよ。」

ヒメちゃんは、ちいさなこえがきこえているのに、
しらんぷりをしました。

ヒメちゃんは、おうちへかえってきました。

うちにかえっても、てをあらいません。

そして、おやつをいっぱいもってきて

ムシヤムシヤたべながら

テレビゲームをはじめました。

さつきよりも、もっとはつきり、

そしてあきたようなちいさなこえがきこえます。

「おてんきなんだから、

そとでげんきよくあそんだほうがいいし、

おやつばかりたべてると、

ごはんがたべられなくなるから

すこしにしたほうがいいよ」

ヒメちゃんは、おやつをたべて

ゲームをつづけました。

ゆうごはんのじかんになりました。

ヒメちゃんは、おやつのためすぎで

おなかがいっぱい。

ゆうごはんなんてたべられません。

さつきよりもはつきり、

おどかすようなちいさなこえがきこえます。

「ほくらね。いったとおり、

ごはんがたべられない…。

きつとそのうち…」

ヒメちゃんは、ちよつとこわくなりました。

しばらくすると…

おなかのおくのほうが
ズンズン、ズンズン
いたくなってきました。
ヒメちゃんはシクシク
なきだしました。

「おなかがいたい！
おなかがいたい！！」



すぐそばで、
ちよつとたのもし
ちいさなこえが
きこえます。

「トイレにいこうー
そして、おなかのなかを
スッキリしよう！！
ぼくがついているから
だいじょうぶ！！」



ヒメちゃんはこわごわ、
きいてみました。

「あなたはだれ？」

「ぼくは、どっこくん。」

どっこおうちのおうじだよ。

もうすぐあえるからまってね」

ヒメちゃんは、

ちいさなこえのいうとおり、
トイレにいきました。

しばらくすると、

ウンチがでて、

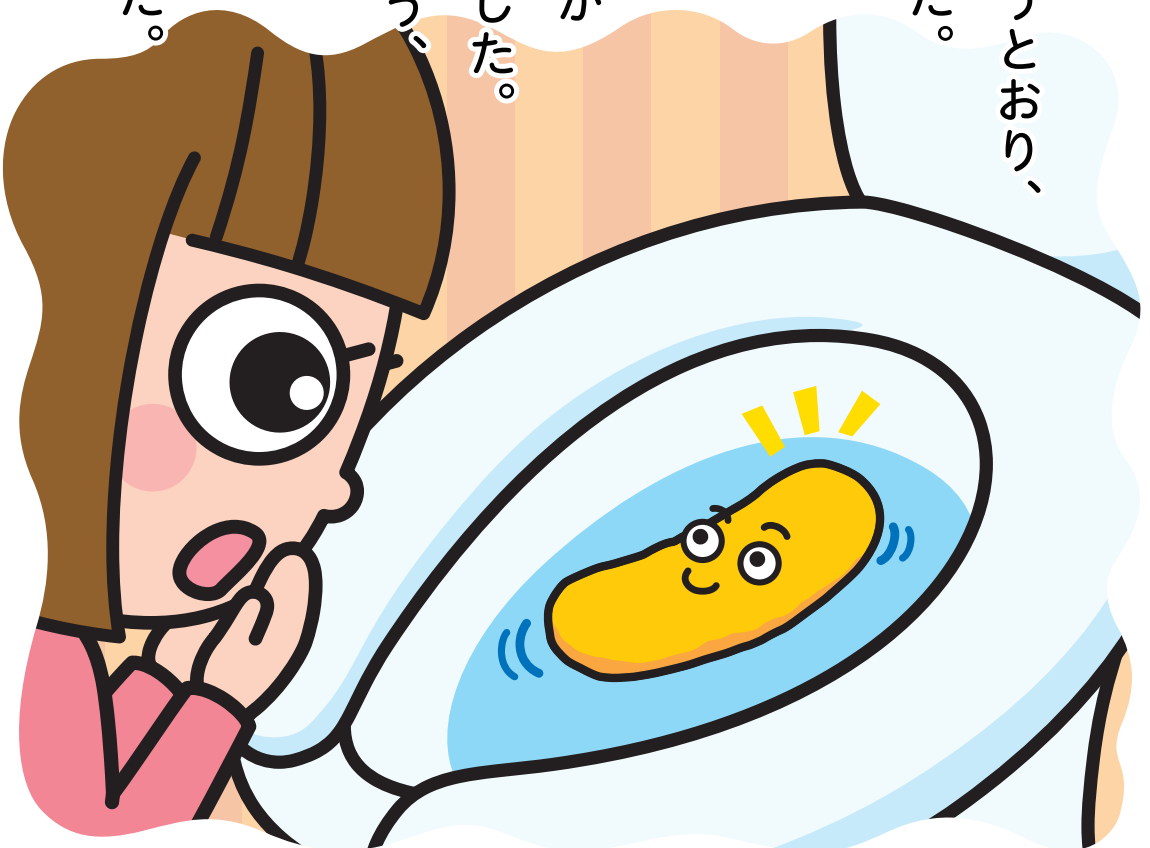
おなかがいいたいのが
すっかりなおりました。

するとどうでしょう、

ヒメちゃんの

ウンチが

しゃべりだしました。



「ぼくは、どっこくん！」

ヒメちゃんがしんぱいで、あいに来たよ。

ヒメちゃんのおなかのなかで、

ぼくたちのなかまはうまれるんだ。

ヒメちゃんがちゃんと、はやねはやおきをして、

ウンチをガマンしないで、たべるまえにはてをあらって、

すききらいをなくして、

おやつをたべすぎないようにして、

そとでげんきよくあそぶっ！というおやくそくを

まもってくれたら、

ぼくのくには、

かっこいいウンチ

ばかりになるよ。

でも、まもれなかったら

がっかりウンチに

なっちゃうから

きをつけて！

ぼくは、いつでも

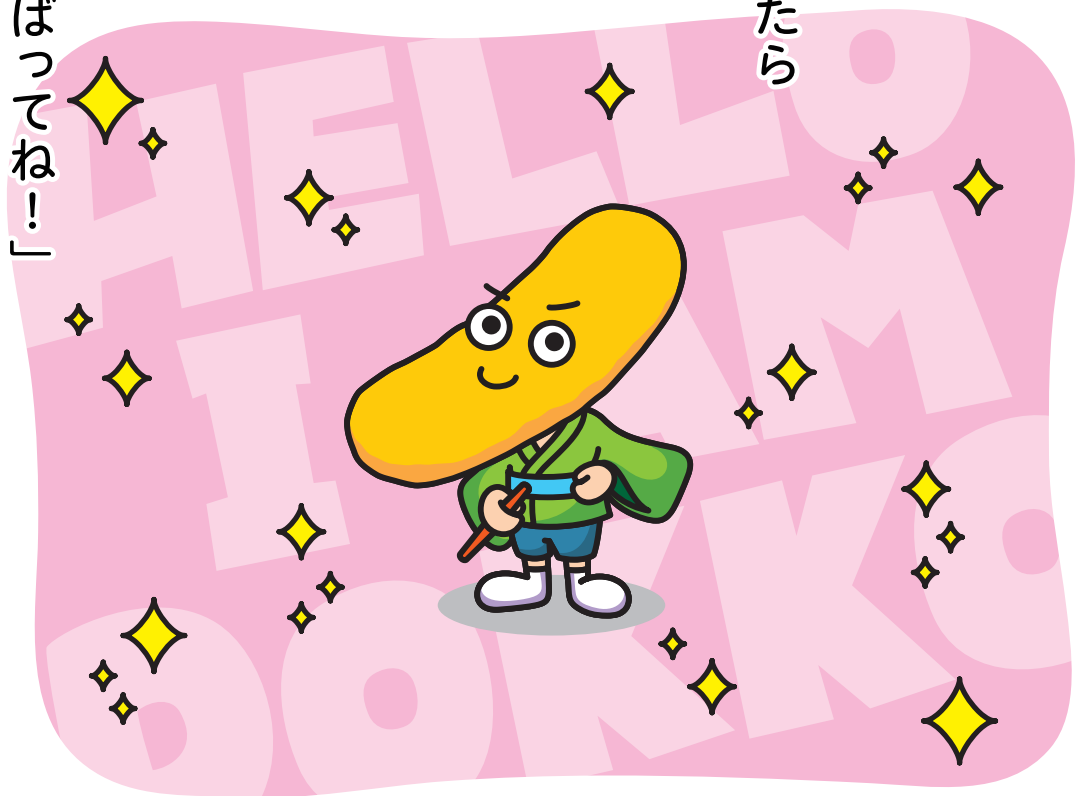
ヒメちゃんの

おなかのなか

にいるからね

かっこいいぼくに

あえるように、がんばってね！」



このひから、

せかいじゅうのあちこちのこどもに

「ちいさい」え」がきこえるようになりました。

ときには「フーイーちいさい」え、

ときにはとつてもやさしいちいさい」え。

もちろん、ちいさいけれどもよくとおる」えで、

「えらいね！かっこいいウンチだね!!」と、

ほめてもらったげんきなこもいます。

